

# 後援会だより

鈴鹿市日本共産党後援会 鈴鹿市西条4丁目144  
電話 382-5709 FAX 382-7689

鈴鹿市日本共産党後援会ホームページ <http://jcp-suzuka.jimdo.com/> パスワード suzuka2020

## 共闘の大成果 改憲勢力に3分の2与えず 野党共闘躍進 共産党7議席（比例4＋選挙区3）

### ご支援ありがとうございました

参院選では日本共産党と、よしの正英野党統一候補に寄せられた後援会のみなさんの大きなご支援・ご協力に心から感謝いたします。

選挙の全体の結果できわめて重要なことは自民・公明・維新などの改憲勢力が改憲発議に必要な議席の3分の2を割ったことだと思います。安倍首相はこの結果を真剣に受け止め、改憲の動きをただちに中止すべきです。

今回の選挙では全国32のすべての一人区で野党共闘が実現、野党統一候補が改選2議席から10議席へと躍進し、「3分の2割れ」に大きな役割を果たしたと言えるでしょう。

三重県ではあと一步議席に及びませんでしたが、市民連合と各党との共通政策によって共闘が大きく発展しました。共闘した4野党の比例票合計より、よしの候補の得票が多く、共闘の効果も証明されたのではないのでしょうか。

野党共闘躍進

2改選  
↓  
10

比例代表 4議席

日本共産党

選挙区 3議席

7議席

日本共産党は選挙区選挙は現有3議席を確保しました。一方、比例代表では5議席から4議席に後退したものの2年前の総選挙の比較では全体として得票・率ともに前進し、次の総選挙での躍進にむけて重要な足がかりになったと確信します。この選挙を市民と野党の共闘の勝利、日本共産党の躍進という二つの目標に照らしてみると全体として大健闘といえる結果をつくりだしたと考えます。

今度の選挙では多くの成果をつくった反面、悔しい結果もありました。どんな情勢のもとでも、共闘に取り組みながら日本共産党を大きく強くする仕事に後援会としてもおおいに努力したいと思います。今後ともみなさんのご協力よろしくお願いします。そして安倍政治に変わる新しい政治の実現にむけてともにがんばりましょう。

鈴鹿市日本共産党後援会会長 谷口 茂

# 日本共産党創立97周年 記念講演を聴いて

参議院選挙のあと、「残念やったなあ！」「僕の家、家族みんなで入れたのになあ。」「何でみんな分からんのやろ。ええこと言うとのになあ。悔しいわ。」と何人もの知人から声がかかりました。私自身も、森友問題でダントツの追及をした、大阪のたつみコータローさんが落選した！比例区が5人から4人に後退した！としよげていました。

しかし、今回の志位委員長の講演を聴いて、野党共闘が壊された(突然民進党を解散し希望の党に合流した)逆流の中での17年総選挙の時と比べると共産党の比例の得票数・率は増えている、大健闘だったのだな。野党共闘は中身が進化しているのだな。大金持ちや大企業の味方ではない、一人一人の国民を大事にする政府を作る希望があるのだな、と元気が出てきました。

志位委員長は

- ①この4年間の野党共闘の発展
- ②野党連合政権を作るための話し合いを始めようの2点を熱く語りました。

①について・・・2015年安保関連法が国会で強行採決されたとき、国会前にはたくさんの市民が集ま

り、「野党は共闘」の声が響きわたりました。(懐かしい！国会前でなく、テレビで見ました)学生や若い母親など、デモなんて初めてという人々が声をあげてましたね。この市民の声に応え、野党は2016年7月の参議院選挙で共闘し、32の一人区の内11の選挙区で勝利しました。

それから、2017年総選挙、2019年参議院選挙と3回の国政選挙を共闘で戦ったわけです。鈴鹿でも「市民連合すずか」ができて、講演会をしたり、選挙で頑張りましたね。(過去形でなく、今も頑張ります)

②について・・・野党連合政権を作るための政策の土台はすでに存在している、それは今回の参議院選での13項目の政策協定だ、という志位さんの言葉になるほどと思いました。参議院選のときにこの13項目をみて、よくここまで合意できたものだ、すごいなと思いました。

ここまで一致できるのだから、各党の個性や理想を尊重しながら本気で政権を取るぞと話し合いをしてほしい。志位さんの言うように国民から信頼され、選挙に行こうと思えるような野党共闘へさらに進化発展なくては。

安倍自民党では、平和で明るい日本の未来はないのだから。

(伊船町 石田喜代子)





石田 秀三の

かけある記

## 「保守主義者」 適菜収と「共産主義者」 清水忠史の対談

共産党衆議院議員の清水忠史さんと、作家の適菜収(てきなおさむ)さんが、面白い対談をした本「日本共産党政権奪取の条件」。しゃべくり漫才のような会話の中で、安倍政治や維新のデタラメを小気味よく批判する点では一致しますが、適菜さんが共産党への疑問をズバズバ言い、清水さんが色々工夫して面白く答える。平行線のように見えて、妙に納得できる議論が続きます。

考え方の違いを超えて、お互いをリスペクトしながら、一致点を見出す。問答無用・結論ありきの不毛な議論や、仲間うちの緊張感のない会話でもない、こんな刺激的な対話が、いま求められているのではと思います。

### 党名変更について

**適菜** 「保守党」に名前を変えたらどうですか。それが一番実態に即している。国民の抵抗も薄れるでしょう。

**清水** これは冗談として聞いてもらいたいのですが、どうしても変えろと言われるなら、僕は「自由民主党」にします。いま自由民主党を名乗っている政党が、自由と民主主義を破壊しているわけですから。これは、もうブラックジョークです。日本共産党ほど自由と民主主義を大事にする党はありません。

### 「正しい社会」ではなく「楽しい社会」を

**適菜** 昔から私が言っているのは、「正しい社会」ではなくて「楽しい社会」を目指した方がいいということです。特に、為政者が「正しい社会」を作ろうと言い出すと、ロクなことになりません。

**清水** 僕は適菜さんの意見に賛成です。「楽しい社会」は僕の目指すところでもあります。社会の圧

迫や殺伐とした心持ちを乗り越えていくのは、人間ならではのユーモアではないかと。それがあって、初めて希望も生まれてくるのではないかと。

**適菜** 自分が置かれている状況をある程度客観的に見ないと、ユーモアは生まれない。アベウヨやネトウヨにユーモアはないでしょう。

### いまは「異常時」だ

**適菜** 私も平常時だと共産党を敵に回していたと思いますが、今は異常時です。明らかな異常事態が国の中枢で発生しているのに、メディアもきちんとモノを言わないし、異常事態が連発することにより、それがまかり通るようになっている。

(鈴鹿市議会議員 石田秀三)



ベストセラーズ (2019/7/8) 1404円





こんにちは  
高橋さつきです

## 後援会のみなさんに 支えられて・・・

初めての議会、初めての一般質問が終わってホッとしたのも束の間で、参議院選挙になだれ込み、ポスティング、ハンドマイク宣伝、電話かけとバタバタ過ぎていった選挙でした。

そんな中、生活相談が少しずつ入ってきています。「電気代が払えずクーラー使えない」「去年の台風被害、損害賠償請求できないか」「生活保護を申請したい」・・・。

お話を聞いたすぐは『え～！どうするんだ？できるのか～？』って思うのですが、そこはさすがの共産党！頼りになる専門分野に詳しい方々がいらっしゃるんです！教えてもらいながらなんとか解決でき、相談者の方に喜んでいただいたりすると心があたたかくなります。私でも役に立てることができるようのだなど議員になれたことを嬉しく思う瞬間です。

その時以外は、議員の生活にまだまだ慣れず、緊張の連続です。7月末には総務委員会の視察で、南海トラフ地震について防災面での取り組みを岡崎市、東京荒川区、山梨県の甲府市で学んできたのですが、難しく大変です。これ以上顔にシワは

いりませんが、脳みそにもっとシワが欲しいと強く思います。(笑)

さつき後援会有志の方が、以前に私が「参議院選挙が終わって落ち着いたなら、ゆっくりランチがしたい！」と言っていたのを覚えていてくれて、連れて行ってくれました。独特な世界観、広々とした庭園、おしゃれな和モダンの建物でのランチは旅行でも来たかのような気分になってとても癒されました。企画してくれた方々に感謝です！



ステキなランチ 後援会のみなさんありがとう

新聞配達、集金活動をはじめ、支部の仕事、議員の仕事や勉強に余裕がなくて、いっぱいいっぱいになってしまいますが、頑張るためにはやっぱりフレッシュが大事ですね！

みなさんも体調管理に気を付けて短い夏を楽しんでくださいね！

(鈴鹿市議会議員 高橋さつき)



岡崎市の災害救助車 レッドサラマンダー



6月21日 初質問



コミバス署名へのご協力をお願い



# 誰でもが市内どこへでも 行ける「無料」のコミバ スを走らせて下さい



鈴鹿市民のコミバスをよくする会は、2012年に発足し、その後、先進地の見学会、スーパー前でのアンケート活動や、老人会等の皆さまのご協力による住民懇談会など、様々な活動に取り組んできました。そして、今年1月16日、末松則子市長と2度目の懇談では、地域公共交通に積極的に取り組みたいとの思いが伝わってきました。そのことは3期目の公約にも示されています。

この間の担当部局との懇談では、「地域が事業主体となる自主運行システム導入のための手引き書案」の作成や、「乗合タクシー」などを検討していることが分かってきましたが、多くの市民の利用が見込める内容でないことも明らかになってきました。

また、新たな地域交通・コミバスの運行が、既存の公共交通の利用減少にならないかと担当部局は懸念しますが、私たちは利用減少にはならず、連結場所を工夫すれば利用増加になると考えます。どのよ

うな影響がでるかは机上の議論でなく実証運行のなかでこそ明らかになってきます。そして、実証運行は運賃無料でなければなりません。

6月議会では「公共交通検討会議」設置の補正予算が決まりました。いよいよ具体的な検討が始まります。

私たちは、市長さんが強いリーダーシップを発揮して、1日も早く、多くの市民に利用され愛される地域交通ができるよう、市長さん宛に要請署名を取り組むことにしました。8月から3ヶ月間で1万を超えたいと活動をすすめています。

後援会の皆様、多くの鈴鹿市民の皆様のご協力をお願いします。

鈴鹿市民のコミバスよくする会事務局

橋詰 圭一

## 卓球を楽しむ

寺家 吉田一男



妻にさせられてはじめて卓球、そろそろ8年になります。

8年もやればよほどうまくなるはずですが、そうは行きませんが、練習では決まったパターンがありますからそれなりに楽しめるのですが、試合となるとボールはどこへ飛んでくるかわかりません。せっかく練習で身につけた技術がうまく発揮できません。

見ていると運動神経（反射神経）のいい人はボールが飛んでくる位置にさっと動いています。私など体育で「3」（ときには「2」）しかもらったことがないので、

そこがなかなか難儀です。無理な体勢で打つてミスをしてしまえます。当然試合に負けます。

でも試合は勝てなくてもげんなりする必要はありません。自分なりに楽しめればいいのですから。最近そう自分に言い聞かせています。

何が楽しいか、それは工夫と努力で昨日よりもちよっぴり進歩した自分を感じる時です。

いつまでできるか分かりませんが、健康のためにも、足腰が動くうちは続けたい。そしていつかは勝ちたい。決して「勝ち」をあきらめていないわけではあります。

新シリーズ  
私の趣味

⑧

# ボーナス引き上げ分46万 5600円を返納（寄付）



期末手当の引き上げ分を市に寄付する元市議の森川さん（左）と橋詰さん（中）＝鈴鹿市役所で

ボーナス引き上げ分  
鈴鹿市へ元市議寄付  
森川さん橋詰さん

鈴鹿市議を今春引退した  
森川ヤスエさん（左）＝矢橋  
三三と、橋詰圭一さん（中）＝  
岸岡町＝が二十六日、任  
期中のボーナス（期末手

当の引き上げ分計四十六万五千六百円を市に寄付した。

市議や市長らの特別職公務員の報酬や給与は市議会の承認を得て決められる。

二〇一六年三月、二人が所属していた共産市議団は一年分をさかのぼって年間〇

・一カ月分のボーナスを引き上げる議案に反対していた。理由は「国民健康保険税の引き上げなどの一方で、自分たちの報酬を上げるのは市民への背信行為」というもの。

しかし、現職中にアップ分を返すのは政治家による寄付を禁止した公選法に触れる恐れがあるため、公選

法を担当する市選管と相談した。寄付金を受ける市財政課も「政治家の寄付行為の禁止」に抵触しないか二人に確認。引退後に返すことにした。

二人は「奨学資金と図書購入費に使ってほしい」とし、それぞれ現金二十三万二千八百円を市の担当者に寄付。市は本年度の予算に組み込む。（酒井直樹）

7月27日「中日新聞」より

## 絵手紙

国府町  
宮崎ヨシ子さん



政治革新の道しるべ、  
真実つたえ希望はこぼ

しん 赤旗  
ぶん

日刊●月 3497円  
日曜版●月 930円



【編集後記】

厳しかった猛暑も、もうそろそろ終わりが見えてきたようです。去年は、ちょうど今ごろから選挙準備がはじまりました。▼2018年9月16日、大門みきし参院議員を迎えてジェフリー鈴鹿で行った演説会。予定候補として登壇した高橋さつきさんの初々しさ。▼知事選・県議選・市議選と続き、ついに迎えた7月の参院選。野党共闘が力を発揮し一人区で10人が当選。共産党も7議席を獲得▼その結果、自民党は9議席減らして過半数割れ。同時に改憲勢力3分の2超えも阻止しました。▼選挙のお礼に訪問した際「後援会だより読んで下さい、無料です」ああいよいよと答えてくださった方には、今回がはじめてのお届けとなります。お読みいただいた感想はいかがでしょうか？▼今や共産党は一人でたまたかう時代ではありません。野党が力を合わせる共闘の時代を私たちは生きています。▼安倍政治に変わる野党連合政権を作りましょう。微力ながら私たちも、世の中変える力になりたい。

編集委員一同